

※ 今後の方針に関する大事なお知らせ

第四中学校区への施設一体型小中一貫校の設置については、これまで『富田地区まちづくり基本構想』の柱となる取組として、検討を進めてまいりました。

その中で、皆さまからは通学路を始めとする様々な課題についてのご意見等を頂戴し、本取組については十分な時間をかけて検討していく必要があるとの判断に至りました。

そのため、一貫校の設置については、令和3年度中に取りまとめる予定としていた『富田地区まちづくり基本構想』から切り離し、時間的な区切りや期限を設けず、以下のとおり、慎重に検討を行っていくことといたしました。

— 教育長から皆さまへ —

本市では、子どもたちにこれからの社会を生き抜く力をつけることを目的に、平成28年度より全中学校区において、連携型小中一貫教育を実施してきました。これにより、小・中学校の教職員間の連携が深まり、教育活動の質が高まった結果、児童生徒の学力の向上や生徒指導上の課題が減少するといった成果が見られました。

これまでの成果を踏まえ、令和2年度からは『富田地区まちづくり基本構想』の策定に着手し、施設一体型小中一貫校の設置に向けて、検討を進めてまいりました。

この間、『小中一貫校だより』の発刊や説明会の実施など様々な形で、基本構想の検討状況をお伝えしてまいりました。その中で、皆様からはご期待の声をいただく一方、通学路における安全確保など様々なご意見やご要望を頂戴したところです。

こうしたお声を受け、第四中学校区における施設一体型小中一貫校の設置については、『富田地区まちづくり基本構想』から切り離れた上で、今一度立ち止まって、慎重に検討を行ってまいることといたしました。

これまで、基本構想をより良いものとするため、貴重なご意見を頂いてまいりましたことに深く感謝申し上げます。

なお、施設一体型小中一貫校の設置は、教育の質を更に高めるため、『第2期高槻市教育振興基本計画』における重点取組の一つとして位置付けています。今後も子どもたちの学力向上、地域参画力の育成を第一に考え、小中一貫教育を始め、様々な教育施策を推進してまいりますので、引き続き、本市教育へのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年9月24日

高槻市教育委員会 教育長 樽井 弘三

これまでの取組経過につきましては、引き続き市ホームページに掲載しております。

高槻市 施設一体型小中一貫校

検索

市ホームページ QRコード

